

令和 3 年笛吹市議会第 2 回定例会

令和 3 年笛吹市議会第 2 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様にご理解を賜りたいと存じます。

はじめに、新型コロナワクチン接種についてです。

国は、重症化リスクが高い高齢者への接種については、できる限り早期に完了することが必要として、7 月末までに完了することを目標に掲げています。

そのため、本市でも、集団接種の日数、個別接種の日数及び接種可能人数を増やすよう笛吹市医師会に要請し、協力を得る中で、7 月末までの接種完了を目指し、体制強化を進めているところです。

予約については、4 月 21 日に 65 歳以上の高齢者を対象に受付を開始しましたが、電話が集中し、つながりにくい状態となり、市民の皆様にご迷惑をお掛けする結果となりました。これを改善するため、コールセンターの電話受付人数を増員するとともに、対象者の年齢を区切って受付を行うこととしました。

このような改善を行っても、電話での受付は 1 件当たり 15 分程度かかり、1 日に対応できる数に限りがあるため、予約の際は、可能な限りインターネット予約の御利用をお願いします。

御自身でインターネット予約が難しい場合は、御家族、友人、知人がスマートフォンやパソコンを使って予約することもできます。インターネット予約の方法が分からない方には、健康づくり課及び各支所の職員がサポートしますので、お気軽に御相談ください。

また、ワクチン接種については、5 月 9 日から開始しており、6 月からは開業医による個別接種もスタートしています。接種状況については、6 月 10 日現在、2 回接種者は 1,432 人で、1 回接種者は 6,753 人です。

引き続き、市民の皆様が安全かつ円滑に接種できるよう、職員と一丸となって全力で取り組んでいきます。

次に、有料指定ごみ袋の価格の見直しについてです。

ごみの減量と適切な分別を推進するため、平成 29 年 4 月に導入した有料指定ごみ袋については、私が市長に就任した平成 28 年 11 月には、現在の販売価格などが決定されていたことから、3 年間は導入効果を見極める期間とし、その推移を見てきました。

実際、生活系可燃ごみの減量率は、導入前の平成 28 年度と比較して、過去 3 年は 12 パーセント程度の減少で推移しており、可燃ごみの減量に関し、有料指定ごみ袋の導入は一定の効果があったと考えられます。

しかし、本市の有料指定ごみ袋の販売価格が近隣の市と比べて高いことについて、市民の皆様から御意見が寄せられていたこともあり、令和3年4月の販売価格の減額を目指し、これまで、販売価格の見直しを含めた検討を進めてきました。この間、残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、市民の皆様の意見を伺う機会が思うように設けることができませんでした。

そのため、想定していた時期からは遅れたものの、本年2月に廃棄物減量等推進審議会に一般廃棄物処理手数料、すなわち、有料指定ごみ袋の販売価格の見直しについて諮問し、5月には、審議会から「市民の『ごみ減量化』に対する取組及び減量意識の高揚に応えるものとして、販売価格を減額改定すべき」との答申がなされたことから、今回、一般廃棄物処理手数料の減額に係る条例案を本議会に上程したところです。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている市民の皆様の経済的な負担軽減を図りつつ、ごみの減量が更に進むよう、取り組んでいきます。

次に、笛吹市消費喚起キャンペーン事業についてです。

市内の消費を喚起して地域経済の活性化を図るとともに、非接触型の決済を促進するため、6月1日から8月31日までの3か月間、「ともにごんばろう笛吹！対象店舗で最大30パーセントが戻ってくるキャンペーン」を実施しています。

この消費喚起キャンペーンには、市内の小売業、飲食業及び宿泊業など約600店舗が参加

ペイペイ

しており、これらの店舗で期間中にPayPayによる決済を利用すると、決済金額の最大30パ

ペイペイ

ーセントのポイントがPayPayボーナスとして付与されます。

市民の皆様はもちろん、市外の方々にも積極的に利用していただき、地域経済の活性化が図られるよう取り組んでいきます。

次に、笛吹市夏祭り第57回石和温泉花火大会についてです。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し中止としましたが、今年は、来場者が安心して観覧できるよう、観覧席に人数制限を設け、入り口で検温を行うなどの感染対策を徹底し、7月24日から8月21日までの毎週土曜日の5日間に分けて開催します。

花火を御覧になる際は、マスクを着用し、密を避けるなどの基本的な感染対策を行いつつ、「笛吹の夏」を楽しんでいただきたいと思います。

次に、新道峠展望台の供用開始についてです。

新道峠展望台については、7月31日の供用開始に向け整備工事を進めています。供用開始に伴い、沢妻亭のあるすずらんの里を発着地とする展望台への送迎バスの運行も開始する予定です。

また、展望台の愛称を募集したところ 243 件の応募があり、選考の結果「～新道峠からの
ちょうぼう ふじやま
富士山 眺望 スポット～FUJIYAMAツインテラス」に決定しました。

新道峠展望台を新たな観光スポットとして多くの皆様に知っていただけるよう国内外に
ピーアールしていきます。

次に、多目的芝生グラウンドの整備に係る検討についてです。

今年度は、グラウンド整備の必要性や課題などを整理した上で、整備方針、建設候補地
の選定、施設の規模や導入する機能など、整備に係る基本計画を策定することとしてお
り、現在、関係課職員で構成する「多目的芝生グラウンド整備検討プロジェクトチーム」
を編成し、基本計画の策定に伴う課題を検討しています。

また、基本計画の策定について事業者からの支援を受けるため、公募型簡易プロポーザ
ル方式による事業者選定を行っているところです。

さらに、基本計画の策定に必要な事項を調査検討するため、関係団体の代表者や学識経
験者などで組織する、検討委員会の設置に係る条例案を本議会に上程しています。

次に、「地区防災計画」及び「わが家の災害時行動計画」の策定支援についてです。

市では、行政区を災害時の共助の主体として位置付け、行政区の「地区防災計画」の策
定支援を行います。

この計画は、地域の特性に応じて予想される災害、避難行動要支援者の避難誘導、在宅
避難者の支援、指定避難所の運営、具体的な防災対策、防災マップなどについて定めるも
のです。

今年度は、浸水害及び土砂災害のおそれのない行政区からモデル地区を選定し、ワーク
ショップを開催して地区防災計画の策定を進めるとともに、計画のひな型を作成し、ほか
の行政区での策定を進めていきます。

また、各世帯が、災害時に判断に迷うことなく行動できるように「わが家の災害時行動
計画」の策定を支援し、自助力の強化に努めます。

現在、計画策定について事業者からの支援を受けるため、事業者選定を行っているところ
です。

次に、防災備蓄倉庫整備事業についてです。

指定避難所の開設を迅速かつ効率的に行うため、3 か年かけて、全ての指定避難所に防
災備蓄倉庫を整備します。

今年度は、八代総合会館、若彦路ふれあいスポーツ館、石和富士見小学校の 3 か所の指
定避難所に、計 6 棟の倉庫を整備します。

次に、病児・病後児保育施設の開所についてです。

病気又は病気から回復途中にある0歳から小学校6年生までの児童を一時的に預かり保育する、病児・病後児保育所「そらいろ」が、5月6日に一宮温泉病院内に開所しました。

市内では初めての病児・病後児保育所となり、身近な施設での利用が可能となったことから、これまで以上に子育ての負担軽減が図られるものと期待しています。

開所から6月10日までの利用者は21人となっています。

次に、市立保育所の完全給食化についてです。

現在、指定管理者制度を導入していない市立保育所における3歳児以上の給食については、おかずやおやつなどの副食のみを提供しており、御飯などの主食は持参してもらっていますが、保護者の負担軽減や、さらなる子育て支援の充実を図るため、主食の提供を行う完全給食化に向け取り組むこととしました。

令和4年4月から、市立保育所の完全給食化が実施できるよう、取組を進めていきます。

次に、学校プール民間活用モデル事業の実施についてです。

5月25日から、石和南、石和東、石和北の3つの小学校を対象に学校プール民間活用モデル事業を実施しています。

民間の屋内プールの活用は、天候に左右されず、計画的な水泳授業が実施できるとともに、専属インストラクターの効果的な指導により、児童の泳力向上などが期待されることから、本格的な導入に向け検証を行っていきます。

次に、春日居中学校の文部科学大臣表彰についてです。

4月23日に、春日居中学校が「令和3年度子どもの読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣表彰を受けました。

春日居中学校の年間を通して行う朝読書をはじめ、生徒が本の内容を紹介し合い、どの本が読みたくなったかを投票する「校内ビブリオバトル」や、家庭で読んだお勧めの本を短いフレーズで紹介する「家読ポップ展」など、これまで生徒や関係者の皆様が行ってきた特色ある取組が評価されたことに、改めて敬意を表したいと思います。

次に、東京2020オリンピック聖火リレーについてです。

笛吹市においては、6月27日に実施され、市内の走行ルートは、出発式が行われる春日居支所から、春日居小学校前を通過し、大野桑戸橋までとなります。

聖火ランナーの走行の様子は、インターネットのライブ中継で視聴が可能ですので、沿道での応援を控えていただきたいと思います。

令和3年6月14日

笛吹市長 山下 政樹